

保護者 様

知立市立猿渡小学校

## 令和3年度 学校評価アンケート（12月実施）の結果について

～ アンケートにご協力をいただき、誠にありがとうございました。～

### 1 はじめに

本校では、学校教育活動の充実を図り、学校運営改善に生かすことを目的として、毎年学校評価アンケートを実施しています。保護者の皆様へのアンケートに加え、1～6年生の全児童にも学校評価アンケートを実施しており、今回の結果は別紙のとおりです。

これを総合的に検討し、学校運営改善に積極的に生かしてまいりたいと考えております。今後とも皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

### 2 学校評価（アンケート）結果から

#### (1) 「お子さんは楽しく学校へ通っている」／「学校へ行くのは楽しいですか」「学級は楽しいですか」

保護者の方の「そう思う・おおむねそう思う」の回答は、H31:89%→R2:98%→R3:96%であることから、およそ昨年同様、良好なアンケート結果となっています。

ただ、今回最も懸念されるのは、子供たち自身の気持ちの状況です。例えば、「学校へ行くのは楽しいですか」に対し、「はい」が H31:82%→R2:86%→R3:78%、「学級は楽しいですか」に対し、「はい」が H31:89%→R2:85%→R3:84%となっています。昨年度にコロナ禍においても前年度比で向上していた数値も、今回は下降しているのです。

学校はこの2年間、コロナ禍での対応に可能な限り取り組んでおります。保護者の皆様には、このことに対する一定程度のご理解を賜っており、心より感謝申し上げます。それにしましても、子供たち自身には、やはり長引くコロナ禍ゆえに、様々な学校行事等を削減・変更・縮小せざるをえなかったことで、漠然と負の影響を与えているのかもしれない。

#### (2) 「授業」の様子（児童自身の受け止め方）

「お子さんは授業が楽しく分かりやすいと言っている」／「授業はよくわかりますか」

保護者の方の「そう思う・おおむねそう思う」の回答は、H31:80%→R2:93%→R3:92%であることから、こちらもおよそ昨年同様のアンケート結果となっています。

ただ、子供たち自身の「はい」は H31:84%→R2:87%→R3:81%であり、「がんばって勉強している」や「先生の話や友達の意見をしっかり聞いている」「自分の考えを発表することができている」等の項目で、いずれも減少傾向にあります。

タブレット端末の活用で、映像・画像・音声による理解が進み、ネット検索も盛んになり、「提出箱」機能による発言（厳密には書き込み）の様子は以前よりも活発になってきているという手ごたえがあります。しかし、コロナウィルスの飛沫感染防止のため、リアルな発言機会として対話的な学習場面が減っているのは事実であり、我々もその解決策に悩みの多いところではあります。

(3) 「先生は子どもが努力したことを認めてくれている」「先生は一人一人の子どもを大切に指導している」／「先生に、いじめなど困ったことがあれば相談していますか」

「先生は子どもが努力したことを認めてくれている」の問いに、H31:90%→R2:97%→R3:98%の方が、

また「先生は一人一人の子どもを大切に指導している」の問いに H31:89%→R2:98%→R3:96%の方が、「そう思う・おおむねそう思う」と高評価をくださいました。

一方、「先生に相談していますか」の問いに、子供たち自身の回答は、「はい」が H31:71%→R2:67%→R3:68%、「いいえ」が H31:14%→R2:17%→R3:13%です。子供たちが、必要な時に必要に応じて安心して相談できる関係づくりを、更に進めてまいりたいと考えています。

保護者の皆さんからは、「先生と子どもたちのふれあい」「いじめのない学校づくり」「子どものことについての相談」等の項目でも、およそ昨年並みの高評価をいただきました。学校は、常々、一人のいじめも不登校も出さないようにしたいと考え、職員は共通意識で取り組んでいます。ご心配の声がないわけではありませんので、これらを励みにしつつ、今後も努力を積み重ねていく所存です。

(4) 「猿渡小学校の子どもたちは、あいさつや返事ができている」／「元気よくあいさつや返事をしていますか」

アンケート結果では、保護者 H31:74%→R2:84%→R3:85%、児童 H31:80%→R2:74%→R3:79%という結果が出ています。あいさつの状態には、個人差や日々の変化があり、あいさつをうまく返せないことがあるのも事実です。学校では、「コロナ禍でマスクを使用しているも、笑顔やお辞儀で、あるいは大きな声こそ出さなくてもあいさつできるように」と指導しており、今後とも気持ちのよいあいさつのできる猿渡っ子をめざしてまいります。

(5) その他、全体として

今年度のアンケートでは、特に保護者の方から昨年度に引き続き良好な回答をいただいた一方、子供たち自身の気持ちの状態を見ると、いくつかの項目で数値が減少したものがあつたことから、漠然とはしていますが、全体的に閉塞感や危惧を感じているところでもあります。

いずれにしても、児童にとって楽しい学校(学級)になるかどうかは、授業や行事等への理解度や達成感、自己有用感の有無、友達や先生との人間関係など、数多くの要因が関係しているため、一概に判断できるものではありません。もちろん、私たちもコロナ禍を言い訳にするつもりはありません。

毎回このアンケートを通して、各ご家庭における家庭教育の状況やお子様の姿に基づくご意見から、本校における教育活動の成果を確認しつつ、いくつかの課題と手がかりをいただいております。必要なことは教育委員会や行政へも声を届けてまいります。

学校としては、現状を真摯に受け止め、コロナ禍が今後も続くとするならばなお更のこと、「コロナ禍でも充実させる」方策を考えてまいりたいと考えておりますので、引き続き猿渡小学校にますますのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。